



<クラブ評価>

No	項目	内容
1	育成支援	子どもたちにとって「第二の家庭」となるように、安心・安全に過ごせるよう環境を整える。また集団生活の中で、宿題、おやつなどを通して基本的な生活習慣が身に付くよう支援を行う。
2	配慮を要する子どもへの対応	保護者、学校、家庭と連携を取りながら、その子に合った支援を行う。また他の子どもたちとの関わりを通して周りの子どもたちにも理解をもってもらい、共に成長できるよう育成支援を行う。
3	運営体制	クラブの規模に合った職員を配置し、運営方針、事業計画については保護者に説明、周知を行う。
4	学校及び地域・保護者との連携	学校との定期的な情報交換の他に、日々の情報共有を積極的に図る。保護者とコドモンを通して連絡を取るほかに、お迎え時の情報交換も大切にする。積極的に地域交流を図ることで、学童の存在、活動を知ってもらう。
5	施設及び設備・衛生管理及び安全対策	子どもたちが安心・安全に過ごせるよう日々の安全点検の徹底。感染症、事故やケガの防止と対応のマニュアルの確認。毎月の避難訓練の実施。
	訓練実施回数	12回
6	質の向上	支援員の自己研鑽のための研修には積極的に参加する。年に一度のアンケートに対して迅速かつ適切に対応する。自己評価について施設内で話し合い、改善に向けて取り組む。
	1人当り研修参加回数	1.17回
7	青少年の健全育成に向けた取り組み	施設周辺のごみ拾いなどのボランティア活動。地域の方との交流。
	フローラルこまつ推進団体	○
	ボランティア活動実施回数	0回